

居宅介護支援事業所に対するアンケート調査結果 概要

1 調査目的

国が示している地域包括支援センター事業評価の評価指標として、市内の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャー、ケアマネジャーの人数やケアマネジャーが抱えている課題やニーズ等を把握することが位置付けられており、評価指標を満たすために実施するもの。

2 調査期間

令和2年3月25日（水）～令和2年4月3日（金）

3 調査対象

市内の居宅介護支援事業所15箇所

4 回答率

14／15 93.3%

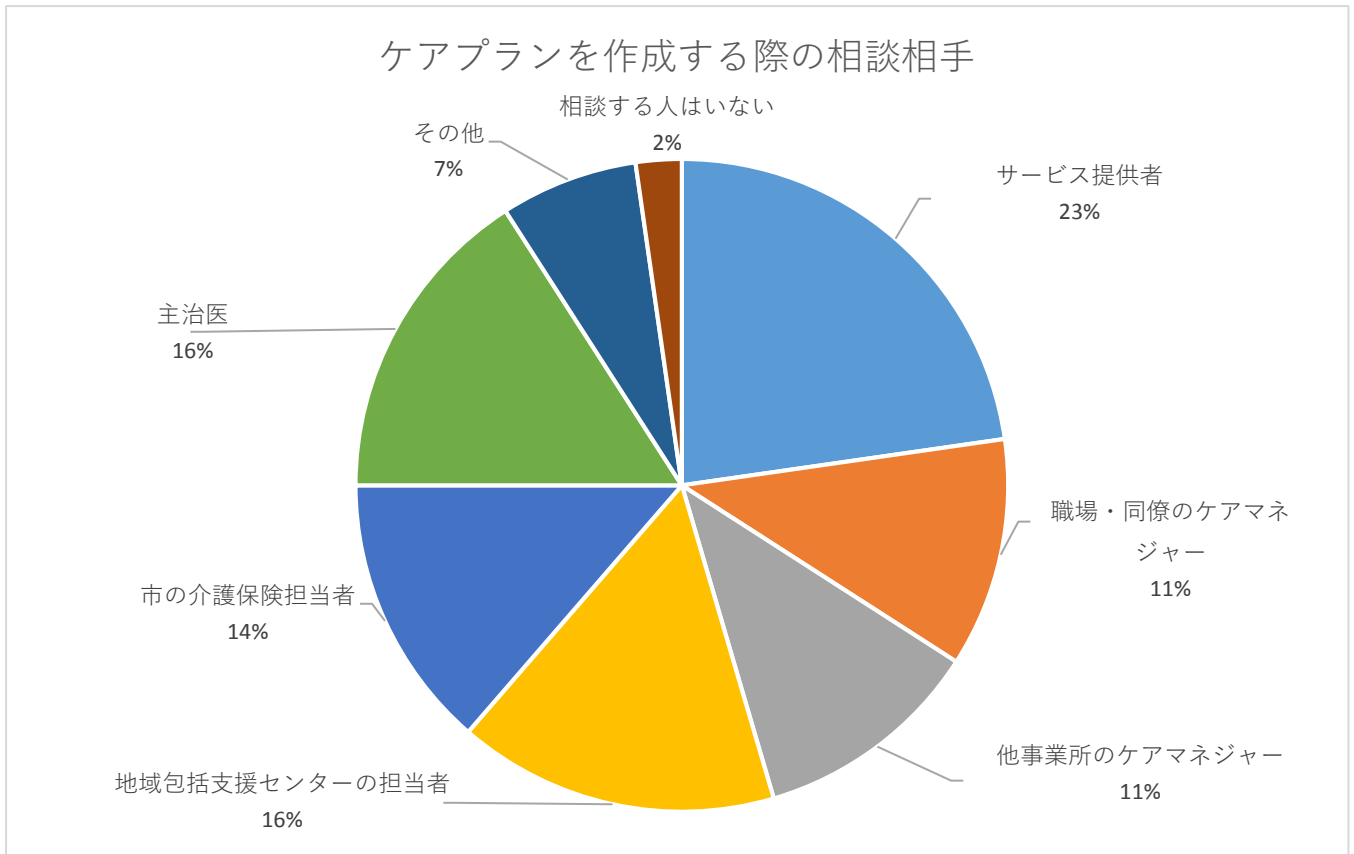
5 調査結果

（1）主任介護支援専門員と介護支援専門員の数

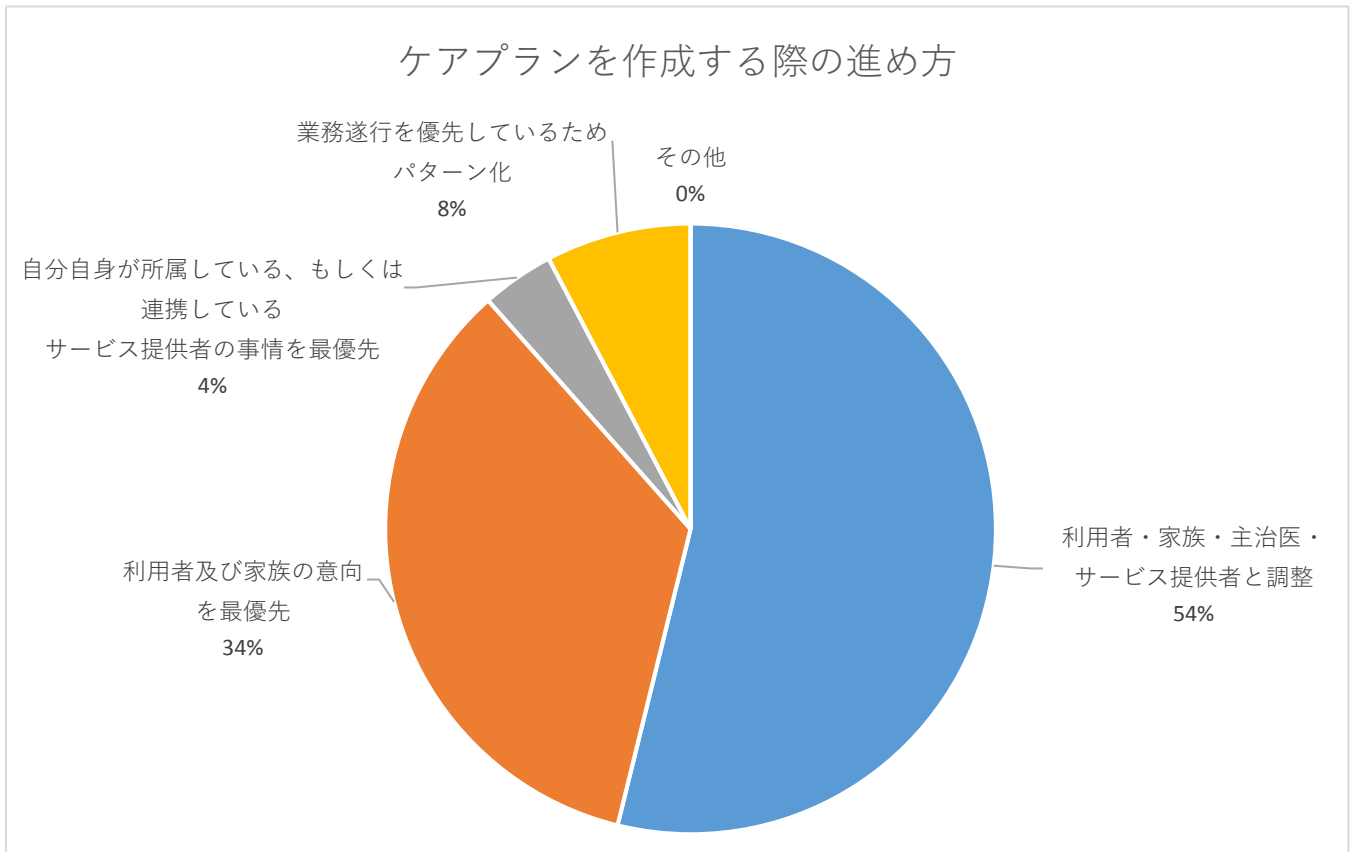
センター名	事業所名	主任介護支援専門員	介護支援専門員
東センター	居宅介護支援センター さくら	0	2
	ケアマネジメント 松の家	0	1
	たま居宅介護支援事業所	1	1
西センター	居宅介護支援事業所 いこいの家	3	2
	居宅介護支援事業所 北本	1	0
	学研ココファン北本	0	1
	あずみ苑 北本	1	0
きたもと寿苑	ニチイケアセンター北本	1	2
	居宅介護支援事業所 きしょう	0	2
	居宅介護支援事業所きたもと寿苑	1	4
	ケアメディカル北本居宅介護支援事業所	0	1
北本社協	北本市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所	1	2
	コープみらい北本介護センター	2	4
	居宅介護支援 ハヤシ・スキップ	1	1

(2) アンケート結果

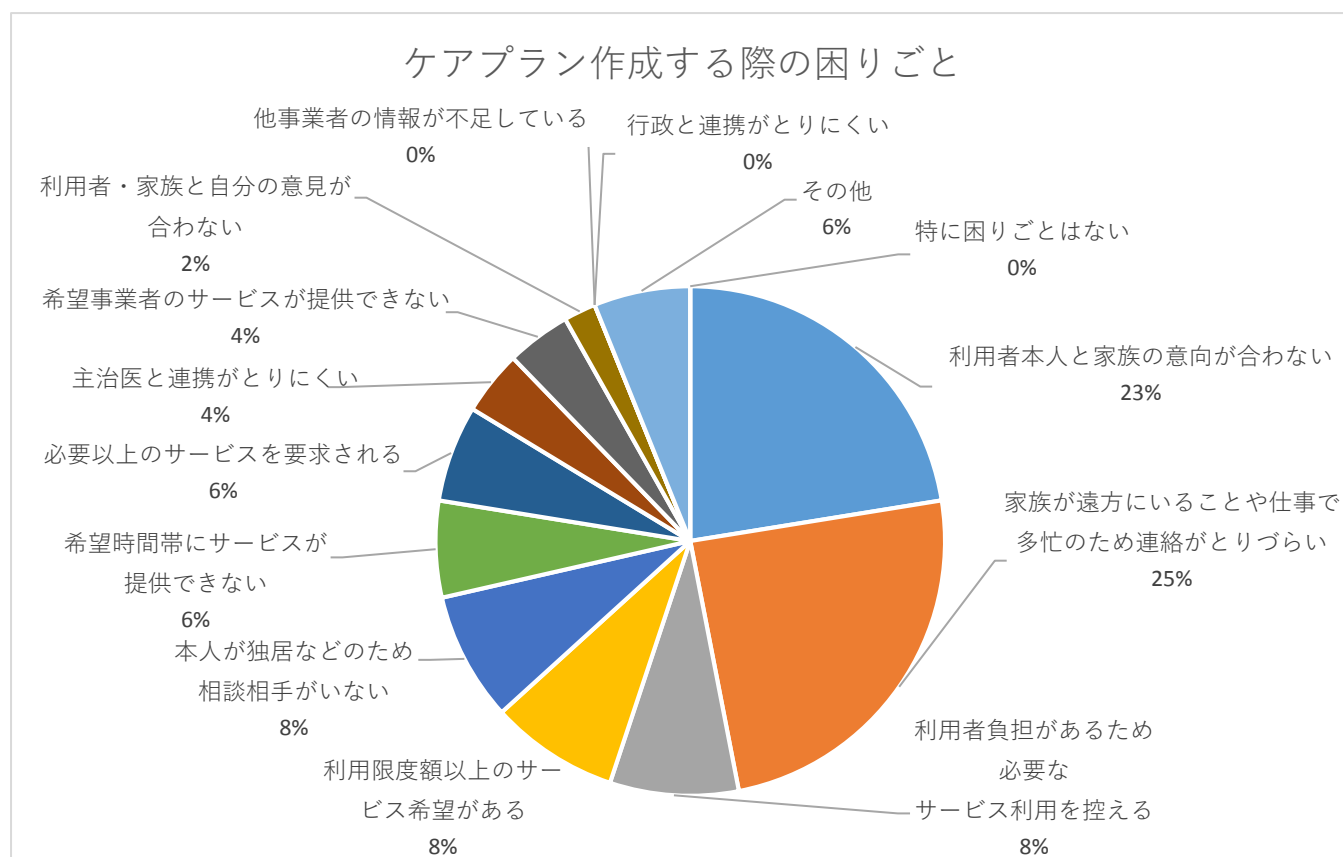
問1 ケアプランを作成する際、主にどなたに相談しているか。



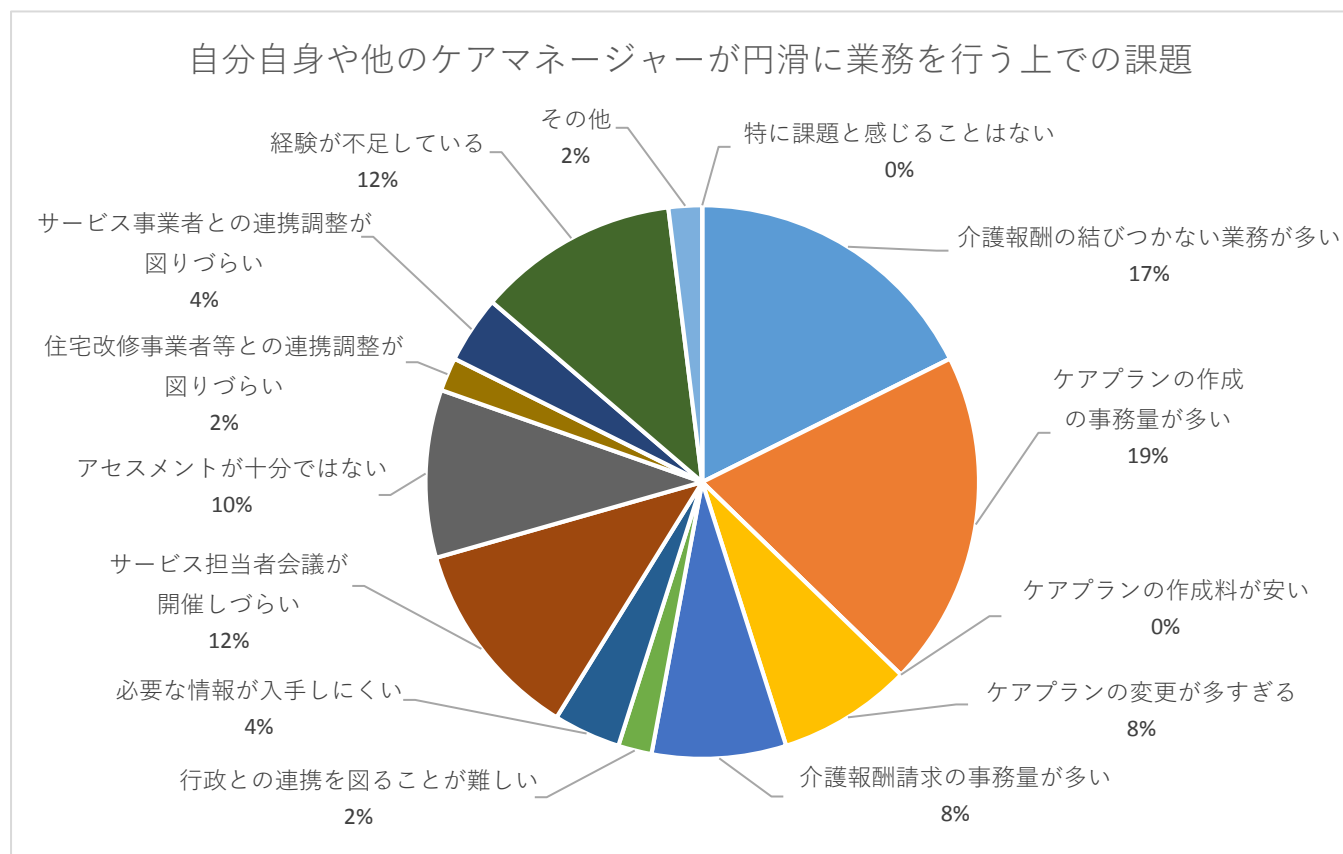
問2 ケアプランを作成する際に、主にどのように進めているか。



問3 ケアプランを作成する上で、どのような困りごとがあるか。



問4 自分自身や他のケアマネジャーが円滑に業務を行う上での課題。



問5 ケアプランを作成する上で、興味のある研修。

- ・ターミナルケア
- ・ケアプラン作成の手引
- ・IoT と AI 活用（見守りアップ）
- ・ICT の活用などの効果的な事例
- ・医療連携
- ・虐待
- ・精神疾患のある家族支援について
- ・他職種との講義、検討会議や話し合いの場
- ・人材育成
- ・事例検討、事例研究
- ・市内事業所で1年以内の新ケアマネを集めての研修
- ・精神疾患をもつ利用者（アルコール依存症、統合失調症、境界性パーソナリティ障害、うつ病等）への支援のための研修
- ・認知症の利用者への対応
- ・アセスメントスキルアップ
- ・高齢者に多い病気や事故（転倒含）、認知症について

問6 その他のご意見

- ・他市に比べ、市の介護保険担当の方々が親切で助かっています。
- ・コロナウイルス対策で備蓄しているマスクやアルコールを配布している行政もあるようですが、北本市はどうでしょうか。
- ・介護の重度化、精神疾患的症状の対応、複雑な家族関係等の困難といえる事例が増えてきている。そのような事例に対応する為にも実践的な事例検討会を開催して欲しい。
- ・事業所によっては、更新後のサービス担当者会議を「照会で」と言う所があるので困っています。
- ・主任 CM 更新研修の受講要件である1回4時間以上の修了証がいただける研修を市内で開催していただきたいです。
- ・死亡入所等により待ち件数が減っています。その中で入所待ちや入院から施設入所の利用者がおり不安定な状態です。包括さんに各居宅が空き状況を伝えて、新規を回して頂く仕組みを作っていただくとよいのかなと思います。
- ・市内の機能訓練型デイサービス、地域密着型デイサービスが閉鎖し利用している利用者の施設替えの検討をしなければならず利用者のニーズに添った事業所が少ない。また、閉鎖の連絡が遅い。